

(1) A～J は飛鳥時代から室町時代までの文化に関する説明文です。このうち飛鳥文化に関するものは「飛」、天平文化に関するものは「天」、国風文化に関するものは「国」、鎌倉文化に関するものは「鎌」、室町文化に関するものは「室」と、かつこ内に漢字 1 字で答えなさい。

- 例) 禅宗の僧である雪舟は、明で水墨画を学び、帰国後に日本の風景を描きました。 (室)
- A: 都に幕府がおかれたことで、伝統的な公家文化と禅宗の影響を受けた武家文化がまじりあった。 ()
- B: 西アジアやインドと交流があった唐の影響を強く受けており、都を中心に栄えた。 ()
- C: それまでの貴族中心の文化が、武士や庶民の間にも広がっていった。 ()
- D: 中国から受けた影響を吸収しつつ、日本の風土や日本人にあわせた文化が生まれた。 ()
- E: 大陸から伝わった仏教が国家の保護を受けて広がり、日本初の仏教文化となった。 ()
- F: 当時の元号から名付けられたこの文化は、天皇や貴族など、一部の限られた人々のものだった。 ()
- G: 仮名文字を使って教養のある女性たちが文学作品を残したのはこの文化の大きな特徴である。 ()
- H: 伝統的な仏教が依然として力を持つ一方で、わかりやすい仏教が新しく生まれ、広がった。 ()
- I: この時代の建築には、部屋に畳を敷き詰めるなど、近代の日本住宅の原型が見られる。 ()
- J: 自分たちの権力を示すために、それまでの古墳に代わって、一族のための寺を建立した。 ()

(2) 次のア～タの文化物が、どの時代の文化に属するものか分類し、記号で答えなさい。

ア: 鳥毛立女屏風 イ: 法隆寺金堂壁画 ウ: 瓢鮎図 エ: 興福寺の阿修羅像 オ: 円覚寺舍利殿
カ: 秋冬山水図 キ: 東大寺南大門の金剛力士像 ク: 伊勢物語 ケ: 螺鈿紫檀五絃琵琶 コ: 伴大納言絵巻
サ: 興福寺の天灯鬼 シ: 土佐日記 ス: 龍安寺の石庭 セ: 天寿国繡帳 ソ: 玉虫厨子 タ: 瑠璃杯

飛鳥文化 () 天平文化 () 国風文化 ()
鎌倉文化 () 室町文化 ()

(3) 次のア～エの建築物に関する説明を読み、古いものから時代順に並び替えなさい。

ア: 現存の建物は火災にあって建て替えられたが、それでも世界最古の木造建築であるといわれている。
イ: 武士の争いにより焼失したこの門は、宋の新しい建築様式を取り入れて再建された。
ウ: 三角形の木材で組んだ校倉造で造られ、中には遣唐使が持ち帰った宝物が保管されている。
エ: 広い敷地に廊下で繋がれた建物や池のある庭園が配され、天皇の仮住まいとして使われたこともあった。

() → () → () → ()

(4) 次の A～G の文章を読んで、間違っているものをすべて選びなさい。

- A: 韓国の金銅仏と法隆寺の弥勒菩薩像は非常に似ているが、このことから中国から伝わってきた仏教が日本で広まったあと、朝鮮半島に伝わっていったことがわかる。
- B: 飛鳥時代にはお正月のおとそや鏡もち、端午の節句や七夕、お盆といった年中行事が行われるようになった。
- C: 8 世紀後半には、大伴家持らによって天皇と貴族以外が詠んだ歌も収められている『万葉集』が編纂された。
- D: 絵と言葉を横長の紙に配置した絵巻物は、左から右へストーリーが進んでいく読み物である。
- E: 10 世紀半ばには念仏を唱えて大日如来にすがり、死後に極楽浄土に生まれ変わることを願う「浄土信仰」が都でおこり、11 世紀には地方にも広がっていった。
- F: 鎌倉時代の随筆としては『徒然草』や『方丈記』、軍記物としては『平家物語』や『太平記』がある。
- G: 室町時代には守護大名の細川氏によって足利学校が再興されて、多くの人が学んだ。

()